

1 調査概要

1. 1 調査目的

本調査は、さっぽろ障がい者プラン 2018 の改定作業を含めた札幌市の障がい福祉施策に係る今後の方向性検討のために、障がいのある方の生活実態や取り巻く課題等を調査・分析することを目的とする。

具体的な調査方法は以下のとおりである。

① アンケート調査

障がい者、障がい児、施設入所者、精神科病院入院患者、障害福祉サービス等事業所、企業及び市民を対象としたアンケートの実施

② ヒアリング調査

アンケート調査では把握が難しい実態・課題について、障がい当事者団体、障害福祉サービス等事業所、企業へのヒアリングの実施

2 アンケート調査概要

2. 1 調査対象

本調査における調査対象は次表のとおりである。

調査種別	調査対象
1. 障がい者調査	<ul style="list-style-type: none">札幌市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の被交付者特定医療費（指定難病）受給者証所持者（いずれも18歳以上）
2. 障がい児調査	<ul style="list-style-type: none">札幌市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳の被交付者特定医療費（指定難病）受給者証所持者（いずれも18歳未満）
3. 施設入所者調査	<ul style="list-style-type: none">札幌市内の障がい者入所施設の利用者
4. 精神科病院入院患者調査	<ul style="list-style-type: none">札幌市内の精神科病院の入院患者
5. 市民調査	<ul style="list-style-type: none">札幌市内に居住する18歳以上の市民
6. 事業所調査	<ul style="list-style-type: none">札幌市が指定している障害福祉サービス等提供事業所
7. 企業調査	<ul style="list-style-type: none">札幌市内に所在する企業

2. 2 調査基準日

令和4年10月1日現在の状況について回答をいただいた。

2. 3 対象抽出数・回収数・回収率

本調査における対象抽出数・回収数・回収率は次表のとおりである。

調査種別	母数	抽出数	回収数	回収率(%)	調査方法
1. 障がい者調査 (身体障がい者) (知的障がい者) (精神障がい者) (難病)	80,977 15,571 30,271 23,163	6,450 (2,000) (2,000) (2,000) (450)	2,108	32.7	郵送 インターネット
2. 障がい児調査 (身体障がい児) (知的障がい児) (難病)	1,382 4,927 128	1,050 (500) (500) (50)	359	34.2	郵送 インターネット
3. 施設入所者調査	28 施設	28	10	35.8	インターネット
4. 精神科病院入院 患者調査	37 施設	37	10	27.0	郵送 インターネット
5. 市民調査	1,528,491 市内 18 歳以上人口 (令和 4 年 7 月 1 日時点)	3,000	925	30.9	郵送 インターネット
6. 事業所調査	4,570	1,370	354	25.9	インターネット
7. 企業調査	47,112 社 令和 4 年版札幌市統計書による	1,000	223	22.3	郵送 インターネット

注 1... 身体障がい者（児）については、障がい区分（視覚、聴覚、平衡機能、音声・言語・そしゃく機能、肢体不自由、内部障がい）および障がい程度（重度、中度、軽度）の比率により各区分を層化し、各層から無作為に抽出した。知的障がい者（児）については、療育手帳種別の比率により層化し、各層から無作為に抽出した。精神障がい者については、精神障害者保健福祉手帳種別の比率により層化し、各層から無作為に抽出した。

注 2... 身体障がい者（児）、知的障がい者（児）及び精神障がい者の母数は、令和 4 年 3 月 31 日時点。

注 3... 難病の児者それぞれの母数は、令和 4 年 9 月 1 日時点。

注 4... 事業所調査の母数は、令和 4 年 10 月 1 日時点。なお、抽出数について、まず 2,000 事業者を抽出し、同一事業者において複数のサービス種別で指定を受けている場合があるため、これらの重複等を削除した 1,370 事業所を対象として調査を実施した。

【アンケート調査概要】

2. 4 調査期間

令和4年12月6日～令和4年12月23日

(7. 企業調査のみ令和5年2月1日～令和5年2月17日)

2. 5 集計・分析の留意事項

- 「無回答」とは、回答が記載されていないなどの理由によって回答内容が不明であることを示す。
- 回答率（各回答の百分比）は小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 設問文に『(複数回答)』とあるのは、2つ以上の回答を可としたものであり、その百分比の合計は100.0%を超える場合がある
- グラフにおける「n」は、比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答者に相当するのかを示すものである。
- 調査結果の表では、各行ごとに最も高い割合のセルにおいて背景色を変更している。